

【10月26日（木）10:00より前売券発売】

国内外40館以上から貴重な作品が一挙集結！ モネ 連作の情景

会期／2024年2月10日（土）～5月6日（月・休）

会場／大阪中之島美術館 5階展示室

2024年2月10日（土）～5月6日（月・休）の期間、大阪中之島美術館にて「モネ 連作の情景」を開催いたします。

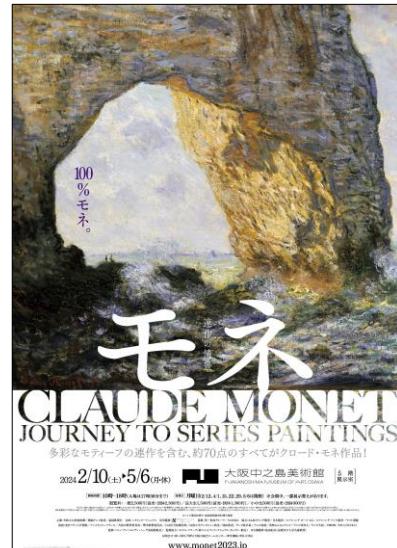
印象派の代表的な画家のひとり、クロード・モネ（1840-1926）。

国内外のモネの代表作約70点＊が一堂に会し、モネの代名詞として日本でも広く親しまれている〈積みわら〉〈睡蓮〉などをモティーフとした「連作」に焦点を当てながら、時間や光とのたゆまぬ対話を続けた画家の生涯を辿ります。

また、サロン（官展）を離れ、印象派の旗手として活動を始めるきっかけとなった、日本初公開となる人物画の大作《昼食》を中心に、印象派以前の作品もご紹介し、モネの革新的な表現手法の一つである「連作」に至る過程を追います。

10月20日に東京展が開幕しました。展示作品のすべてがモネ作品という、壮大なモネ芸術の世界が早くも大きな話題となっています。

* 東京展、大阪展で出品作品が一部異なります



作品紹介

■ SECTION 1 印象派以前のモネ

大作《昼食》を中心に、オランダで描いた風景画など初期作品を紹介。



日本初公開

《昼食》

1868-69年 油彩、カンヴァス 231.5×151.5cm
シュテーデル美術館
© Städelsches Kunstinstitut und Städtische Galerie, Frankfurt am Main

■ SECTION 2 印象派の画家、モネ

1870年代から80年代にかけて、セーヌ川流域を拠点に各地を訪れ作品を描いた。



《モネのアトリエ舟》

1874年 油彩、カンヴァス 50.2×65.5cm
クレラー＝ミュラー美術館
© Collection Kröller-Müller Museum, Otterlo, The Netherlands, photo by Rik Klein Gotink

■ SECTION 3 テーマへの集中

モネは何度も同じ場所を訪れ、対象が季節や天候、時刻によって絶え間なく変化する様子を描き留めた。



日本初公開

《エトルタのラ・マンヌポルト》

1886年 油彩、カンヴァス 81.3×65.4cm

メトロポリタン美術館

Image copyright © The Metropolitan Museum of Art. Image source: Art Resource, NY. Bequest of Lillie P. Bliss, 1931 (31.67.11)



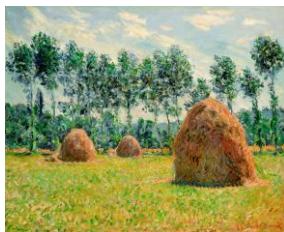
《ヴェンティミリアの眺め》

1884年 油彩、カンヴァス 65.1×91.7cm

グラスゴー・ライフ・ミュージアム (グラスゴー市議会委託)
© CSG CIC Glasgow Museums Collection.
Presented by the Trustees of the Hamilton Bequest, 1943

■SECTION 4 連作の画家、モネ

1880年代中頃から描き始めて「連作」へと結実した〈積みわら〉のほか、様々なテーマで描いた「連作」を展示。



《ジヴェルニーの積みわら》
1884年 油彩、カンヴァス 66.1×81.3cm
ボーラ美術館



《チャーリング・クロス橋、テムズ川》
1903年 油彩、カンヴァス 73.4×100.3cm
 Lyon美術館
Image © Lyon MBA, Photo Alain Basset, B 1725



《積みわら、雪の効果》
1891年 油彩、カンヴァス 65.0×92.0cm
スコットランド・ナショナル・ギャラリー
© National Galleries of Scotland. Bequest of Sir Alexander Maitland 1965

■SECTION 5 「睡蓮」とジヴェルニーの庭

後半生のモネがジヴェルニーで描いた村の様子や、モネが愛した庭のさまざまな情景を紹介。



大阪展のみ
《睡蓮の池》
1907年 油彩、カンヴァス 100.6×73.5cm
石橋財団アーティゾン美術館



大阪展のみ
《藤の習作》
1919-20年 油彩、カンヴァス 100.0×200.5cm
ドゥルー美術歴史博物館
Musée d'art et d'histoire de Dreux, © F. Lauginie

学芸員コラム

1970年、日本で初めてクロード・モネの回顧展が開かれました。以後、今日に至るまでモネの名を冠した展覧会は日本でも数多く開催されています。美術史を語るうえで欠かせない巨匠であるのはもちろん、モネの絵は多くの美術ファンを魅了します。特にジヴェルニーで描かれた〈積みわら〉や〈睡蓮〉、ロンドンで描いた〈ウォータールー橋〉などの連作は、奥深く抽象的な世界が画面に広がり、私たちはモネ自身の眼を体験するかのような不思議な没入感に導かれます。そして1枚のカンヴァスに構成された色と光のハーモニーは、心を揺さぶる視覚体験として残ります。

「モネ 連作の情景」は、「100%モネ」の言葉通り、モネ芸術の鑑賞に集中できるという点で従来の展覧会とは一線を画しています。まだサロン（官展）に憧れていた青年時代から、巨匠として名声を博してもなお制作に格闘し続けた最晩年まで、画家の86年にわたる生涯を、大阪会場では50か所を超える国内外の美術館からお借りした作品によって追える貴重な機会です。「連作」という手法は一昼夜で生まれたものではなく、モネが長い画業の中で到達したことご納得いただけると思います。

モネは2度の結婚を通じて、自身の2人の息子を含む8人の子を育て、良き家族や友人に恵まれて幸せな生涯を送りました。若い頃の貧困や妻の死、晩年の病にも立ち向かう生命力と、制作に関しては強い信念の持ち主でした。そしてモネは浮世絵を生み出した日本を敬愛し、1923年の関東大震災の際には展覧会の収益を義援金に充てています。

この展覧会を通じて皆さまがモネ作品の世界を堪能されることを願っています。



大阪中之島美術館 研究副主幹 小川 知子

企画チケット（いずれも税込）

■原田マハ講演会付き前売チケット（一般のみ）4,000円

原田マハ（作家・『ジヴェルニーの食卓』著者）の特別講演会を開催。講演会と観覧券がセットになったチケットをご用意しました。

講演会名：それでもセーヌは流れている—画家・モネを創った風景への旅

講演会日時：2024年2月10日（土）14:00～15:30（13:30開場）

場所：大阪中之島美術館 1階ホール

定員：150名 ※展覧会チケットは会期中いつでも使用できます。

【販売場所】チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス

※大阪中之島美術館チケットサイトでの取扱いはございません。

【販売期間】2023年10月26日（木）10:00～予定枚数終了まで

原田マハが本展にオリジナルエッセーを執筆。会場でお読みいただけます。



©ZIGEN

■前売2月限定チケット（一般のみ）2,000円

2024年2月10日（土）～29日（木）のみご使用いただけるお得なチケットです。

■前売ペアチケット（一般のみ）4,400円

2人で見る？1人で2回見る？会期中いつでもご使用いただけます。

【販売場所】公式オンラインチケット（etix）、ローソンチケット、チケットぴあ、イープラス、セブンチケット、CNプレイガイド、アソビュー！、近鉄駅営業所

※大阪中之島美術館チケットサイトでの取扱いはございません。

【販売期間】2023年10月26日（木）10:00～2024年2月9日（金）23:59

■グッズ付き前売チケット（一般のみ、1,000枚限定）4,500円

注染手ぬぐい「にじゅら」と本展がコラボレーション。モネをイメージした手ぬぐい2枚が付いた数量限定チケットです。会期中いつでもご使用いただけます。※グッズは会場でお渡し。

【販売場所】公式オンラインチケット（etix）、ローソンチケット、チケットぴあ、イープラス、セブンチケット

※大阪中之島美術館チケットサイトでの取扱いはございません。

【販売期間】2023年10月26日（木）10:00～予定枚数終了まで



モネが愛したジヴェルニーの庭と、大阪の街並みをスケッチするモネをイメージしました。

※2枚組

※画像はイメージです。「大阪の街並み」は、後日発表。

※会場での販売はありません。

講演会

1. 「モネ ジヴェルニーの庭と食卓」

2024年3月9日（土）林綾野（キュレーター・アートキッチン代表）

2. 「モネの魅力、〈連作〉の謎」

2024年3月24日（日）島田紀夫（実践女子大学名誉教授・日本側監修）

3. 「モネのジャポニズム」

2024年4月20日（土）小川知子（大阪中之島美術館 研究副主幹）

※1～3いずれも14:00～15:30（開場13:30）

※会場は大阪中之島美術館 1階ホール

※定員：150名（先着順、申し込み不要）※聴講無料、ただし観覧券（半券可）が必要。

展覧会オリジナルグッズ

本展のオリジナルグッズの一部をご紹介します！
その他にも多彩なグッズをご用意しています。



クリアファイル（全10種）
各495円



タオルハンカチ（全2種）
各880円



トートバッグ（全2種）
各2,860円

モネっぽい写真コンテスト

「モネっぽい」「まるで印象派」な写真を募るフォトコンテストを開催！

受賞者は展覧会にご招待、更に素敵な賞品もプレゼント。

またご応募いただいた作品でモザイクアートを作成し、会場内に掲示します。

参加方法や詳細は大阪展公式X（旧Twitter）をご参照ください。

【応募締め切り】2024年1月8日（月・祝）

【大阪展公式X（旧Twitter）】@100_monet2024



展覧会ナビゲーター・音声ガイド

本展のナビゲーターに、俳優・芳根京子が決定！

展覧会の音声ガイドに初挑戦します！



俳優・芳根京子（よしえ・きょうこ）

Profile／1997年2月28日生まれ。出身地東京。高校1年生の時にスカウトされ芸能界へ。2013年にフジテレビ系ドラマ『ラスト♡シンデレラ』で女優デビューし、2016年度後期の連続テレビ小説『べっぴんさん』ではヒロインを務めた。2019年映画『累 -かさね-』、『散り椿』で第42回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。

解説ナレーターは声優の下野紘が担当！



声優・下野紘（しもの・ひろ）

Profile／主な出演作に『鬼滅の刃』の我妻善逸役や『進撃の巨人』シリーズのコニー・スプリンガー役など。人気作の重要なキャラクターを務めている。

貸出料金：1台 650円（税込）

開催概要

【展覧会名】モネ 連作の情景 Claude Monet: Journey to Series Paintings

【会期】2024年2月10日（土）～5月6日（月・休）

【開場時間】10:00～18:00 ※最終入場は17:30まで

【休館日】月曜日（2月12日、4月1日、15日、22日、29日、5月6日は開館）

【会場】大阪中之島美術館 5階展示室【〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1】

【主催】大阪中之島美術館、関西テレビ放送、産経新聞社

【後援】在日フランス大使館／アンステイチュ・フランセ、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、（公財）大阪観光局、山陰中央テレビジョン放送、岡山放送、テレビ新広島、テレビ愛媛、高知さんさんテレビ、テレビ西日本、ラジオ大阪、FM802、FM COCOLO

【企画】ハタインターナショナル

【特別協賛】ニシタンクリニック

【協賛】第一生命グループ、NISSHA

【協力】KLMオランダ航空、日本航空、ルフトハンザ カーゴ AG、ルフトハンザ ドイツ航空、ヤマト運輸

【監修】ベンノ・テンペル（デン・ハーグ美術館館長）

【監修協力】マイケル・クラーク（スコットランド・ナショナル・ギャラリー前館長）

【日本側監修】島田紀夫（実践女子大学名誉教授）

【観覧料】
(消費税込)

	一般	高大生	小中生
当日	2,500円	1,500円	500円
前売・団体	2,300円	1,300円	300円
前売2月限定チケット（一般のみ）	2,000円		
前売ペアチケット（一般のみ・2枚組）	4,400円		

※前売券販売期間/2023年10月26日（木）10:00～2024年2月9日（金）23:59まで。

※前売2月限定チケットと前売ペアチケットは下記のプレイガイド（美術館チケットサイト除く）のみで販売。販売期間は前売券と同じ。

※展示室が混雑した場合は、入場制限や整理券を配布する場合があります。

※未就学児は無料。※団体は20名以上。

※障がい者手帳などをお持ちの方（介護者1名を含む）は当日料金の半額（要証明）。ご来場当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください。（事前予約不要）

※本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。

※団体鑑賞をご希望の場合は、事前に大阪中之島美術館公式ホームページから、団体受付フォームにてお問い合わせください。

※学校団体の場合はご来場の4週間前までに大阪中之島美術館公式ホームページ学校団体見学のご案内からお申し込みください。

※災害などにより臨時で休館となる場合があります。

大阪中之島美術館チケットサイト	大阪中之島美術館公式ホームページ
公式オンラインチケット	etix
ローソンチケット	【Lコード：54487】ローソン、ミニストップ店内Loppi
チケットぴあ	【Pコード：686-641】全国のセブン-イレブン
イープラス	ファミリーマート店内「マルチコピー」
セブンチケット	【セブンコード：102-833】セブン-イレブン店内「マルチコピー」
CNプレイガイド	ファミリーマート店内「マルチコピー」直接購入 検索キーワード：62290
アソビュー！	
その他	チケットポートなんば店、近鉄駅営業所 ほか

【お問合せ】06-4301-7285（大阪市総合センター）受付時間 8:00～21:00（年中無休）

【展覧会公式サイト】<https://www.monet2023.jp/>

【関西テレビイベントサイト】<https://www.ktv.jp/event/monet2024>

■「モネ 連作の情景」プレスリリース（PDF）東京展・大阪展共通リリース

<https://www.ktv.jp/resource/event/monet2024/pdf/pressrelease0906.pdf>



【広報用画像一覧】モネ 連作の情景

本展の展示物等の画像を、広報素材としてご提供いたします。
下記、申込フォームよりお申ください。

【広報用画像申込フォーム】

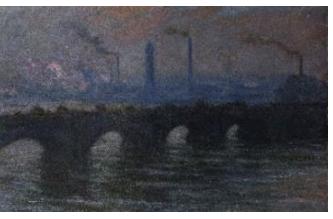
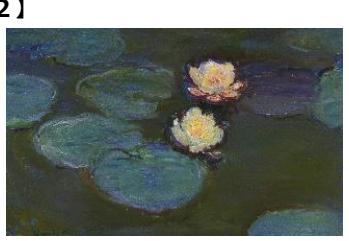
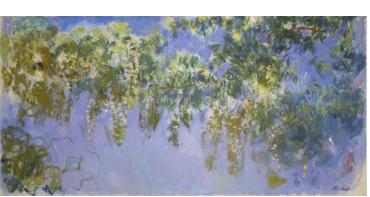
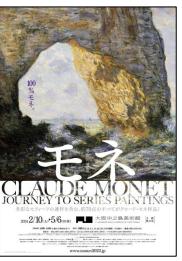
<https://forms.gle/E75cAV8qKLnGMMTd8>

※難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。

■広報画像をご使用の際は、別紙に記載の【画像使用全般に関する注意】を必ずご確認ください。



モネ 大阪展

<p>【1】</p> 	<p>【2】</p> 	<p>【3】</p> 
<p>【4】</p> 	<p>【5】</p> 	<p>【6】</p> 
<p>【7】</p> 	<p>【8】</p> 	<p>【9】</p> 
<p>【10】</p> 	<p>【11】</p> 	<p>【12】</p> 
<p>【13】</p> 	<p>【14】NEW</p> 	<p>【15】NEW 大阪展のみ</p> 
<p>【16】NEW 大阪展のみ</p> 	<p>【17】</p> 	<p>【18】</p> 

【広報用画像クレジット一覧・申込書】モネ 連作の情景

【画像使用全般に関しての注意】

- ・本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的とした報道に限らせて頂きます。ご使用可能期間は本展会期終了までです。
- ・ご使用の際は、展覧会名、会期、会場名、所定の作品データ、所定のクレジットを必ずご掲載ください。
- ・画像はすべて全図で使用してください。トリミング、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・本展終了後の掲載、画像の二次使用はできません。本展会期中であっても再放送や転載をされる場合は広報事務局にご連絡ください。
- ・展覧会基本情報と広報画像の確認のため、校正を本展広報事務局にお送りくださるようお願いいたします。
- ・インターネットでご紹介いただく場合はコピーガードをかけてご使用のうえ掲載URLをお知らせください。
- ・掲載誌・紙（ご紹介号）、同録DVDほかを下記広報事務局まで1部お送りください。

■ご希望の画像に□をお願いいたします。

No.	クレジット・作品名・年代・キャプション
1□	《昼食》1868-69年 油彩、カンヴァス 231.5×151.5cm シュテーデル美術館 © Städel Museum, Frankfurt am Main
2□	《ルーヴル河岸》1867年頃 油彩、カンヴァス 65.1×92.6cm デン・ハーグ美術館 © Kunstmuseum Den Haag - bequest Mr. and Mrs. G.L.F. Philips-van der Willigen, 1942
3□	《モネのアトリエ舟》1874年 油彩、カンヴァス 50.2×65.5cm クレラー＝ミュラー美術館 © Collection Kröller-Müller Museum, Otterlo, The Netherlands, photo by Rik Klein Gotink 
4□	《ヴェトウイユの教会》1880年 油彩、カンヴァス 50.5×61.0cm サウサンプトン市立美術館 © Southampton City Art Gallery
5□	《ラ・マンヌポルト（エトルタ）》1883年 油彩、カンヴァス 65.4×81.3cm メトロポリタン美術館 Image copyright © The Metropolitan Museum of Art. Image source: Art Resource, NY. Bequest of William Church Osborn, 1951 (51.30.5)
6□	《エトルタのラ・マンヌポルト》1886年 油彩、カンヴァス 81.3×65.4cm メトロポリタン美術館 Image copyright © The Metropolitan Museum of Art. Image source: Art Resource, NY. Bequest of Lillie P. Bliss, 1931 (31.67.11)
7□	《ヴェンティミーリアの眺め》1884年 油彩、カンヴァス 65.1×91.7cm グラスゴー・ライフ・ミュージアム（グラスゴー市議会委託） © CSG CIC Glasgow Museums Collection. Presented by the Trustees of the Hamilton Bequest, 1943
8□	《積みわら、雪の効果》1891年 油彩、カンヴァス 65.0×92.0cm スコットランド・ナショナル・ギャラリー © National Galleries of Scotland. Bequest of Sir Alexander Maitland 1965
9□	《ウォータールー橋、曇り》1900年 油彩、カンヴァス 65.0×100.0cm ヒュー・レイン・ギャラリー Collection & image © Hugh Lane Gallery, Dublin
10□	《ウォータールー橋、ロンドン、夕暮れ》1904年 油彩、カンヴァス 65.7×101.6cm ワシントン・ナショナル・ギャラリー © National Gallery of Art, Washington. Collection of Mr. and Mrs. Paul Mellon, 1983.1.27
11□	《ウォータールー橋、ロンドン、日没》1904年 油彩、カンヴァス 65.5×92.7cm ワシントン・ナショナル・ギャラリー © National Gallery of Art, Washington. Collection of Mr. and Mrs. Paul Mellon, 1983.1.28
12□	《睡蓮》1897-98年頃 油彩、カンヴァス 66.0×104.1cm ロサンゼルス・カウンティ美術館 Los Angeles County Museum of Art, Mrs. Fred Hathaway Bixby Bequest, M.62.8.13, photo © Museum Associates/LACMA
13□	《睡蓮の池》1918年頃 油彩、カンヴァス 131.0×197.0cm ハッソ・プラットナー・コレクション © Hasso Plattner Collection
14□	《チャリング・クロス橋、テムズ川》1903年 油彩、カンヴァス 73.4×100.3cm リヨン美術館 Image © Lyon MBA, Photo Alain Basset, B 1725
15□	《睡蓮の池》1907年 油彩、カンヴァス 100.6×73.5cm 石橋財団アーティゾン美術館
16□	《藤の習作》1919-20年 油彩、カンヴァス 100.0×200.5cm ドゥルー美術歴史博物館 Musée d'art et d'histoire de Dreux, © F. Lauginie
17□	大阪展ポスタービジュアル ※クレジットなし
18□	大阪中之島美術館 外観

貴社名／	
お名前／	
部署／	ご所属／
貴媒体名／	媒体種／
媒体発行・運営社名	
サイトURL／	
掲載号・露出予定日／	月号（　月　　日号）／　月　　日発売予定 <input type="checkbox"/> WEBへの転載あり
TEL／	FAX／
E-MAIL／	
媒体プレゼント用チケット／ <input type="checkbox"/> 希望（2組4名まで）※1点以上の広報用画像使用必須　※提供枚数に達した場合、提供を終了いたします　※発送は開幕直前になります お送り先／〒	

報道に関するお問合せ

「モネ 連作の情景」大阪展広報事務局<ネネラコ内>

Mail／ monet2024-osaka@nenelaco.com Tel／ 06-6225-7885 Fax／ 06-7635-7587

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル